

Delicieux

Ngon

おいしい



おいしさで・しあわせをつくる

ダイショー

Rico

Lecker

第**60**期 2025.4.1～2025.9.30  
中間株主通信

Buono

Tasty

Enak

好吃

Вкусно

Reka

Gostogo

株式会社ダイショー

証券コード：2816



## 株主の皆様へ

株主の皆様には格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
ここに、当社第60期中間期(2025年4月1日～2025年9月30日)の事業概況のご報告とご挨拶を申し上げます。

食品業界におきましては、商品の値上げが継続しており、2025年4月～9月の累計で1万品目を超える商品の価格改定が実施されました。原材料費・物流費・人件費などのコスト増により、企業は価格転嫁を進めざるを得ない状況が続いています。一方、消費者の節約志向は一段と強まり、販売数の確保が一層厳しくなるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

こうした状況のもと、当社は、次のステップへ向けた施策の立案と実行を念頭に、第60期を初年度とする3力年の中期経営計画に基づく取り組みを新たに開始いたしました。次世代を

切り拓いていくために「Challenge 2028～世界に誇れる企業へ～」をテーマとして、ファン(FAN・FUN)を大切にし、食の楽しさを創造する企業風土を醸成し、市場づくり、モノづくりにおいて「“楽しい味”で 世界にプラスを。」というビジョンを徹底的に追求しています。

以上の取り組みの結果、当中間期における売上高は124億5百万円(前年同期比102.1%)となりました。営業利益は2億32百万円(同58.3%)、経常利益は2億25百万円(同53.8%)、中間純利益は1億36百万円(同46.2%)となりました。

なお、当期の中間配当につきましては、前年同期と同額の1株当たり9円とさせていただきます。株主の皆様におかれましては、何卒一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長  
松本 洋助



代表取締役社長  
松本 俊一

## Q 第60期中間決算および上期の取り組みへの評価をお聞かせください。

当中間期の製品群別概況では、液体調味料群の小売用製品が好調に推移しました。「猛暑に立ち向かう食生活」をテーマに投入した春夏新製品では、「男梅」の濃厚な梅干しの味わいを再現した『男梅めんつゆ』や、「札幌すみれ」監修の『名店のまかない飯 すみれ監修炒飯の素』など、コラボレーション製品が売上を牽引しました。主力の「焼肉のたれ」類はCM展開を強化するなどプロモーションが奏功し堅調に推移。鍋スープ類では、人気YouTuber監修の『料理研究家リュウジ監修 至高のキムチ鍋スープ』など新製品が好調なスタートを切ったものの、残暑の影響で鍋スープ全体の販売開始には遅れが見られました。

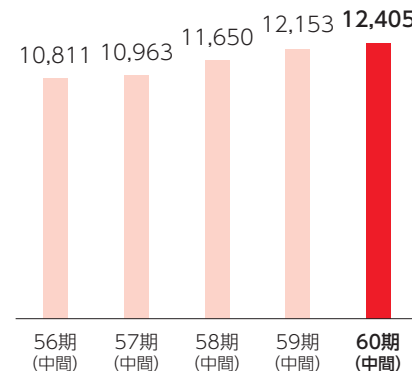
業務用製品では、多様なフレーバーで展開しているオイルソース類が精肉向けを中心に売上が増加。粉体調味料群にお

いては、小売用製品の『味・塩こしょう』シリーズが好調に推移しました。

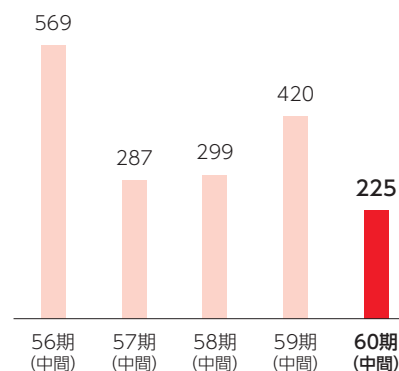
組織面では、2025年6月に「ダイショー・ブランディング・プロジェクト」の一環として「ビジョナリーマネジメントPJ」を始動しました。部長職以上のマネジメント層が、今回改めて、当社の未来やビジョンをテーマとして意見を交わし、社内の対話が広がる契機となりました。

また、前期に実施した役員のジョブローテーションにより、部門の垣根を超えた交流が進み、今期はその効果もあって組織の活性化が一層促進されました。営業担当者を対象に工場見学を行うなど、現場理解の深化にも取り組んでおり、今後もこうした機会を定期的に継続していく考えです。

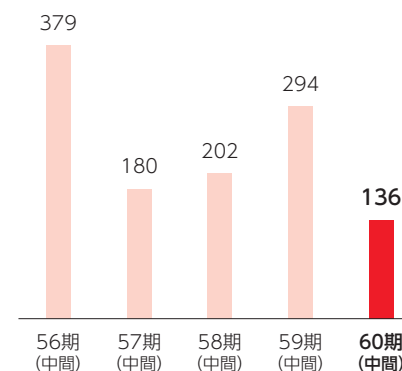
### 売上高 (単位:百万円)



### 経常利益 (単位:百万円)



### 中間純利益 (単位:百万円)





## Q 下期の見通しおよび株主の皆様へのメッセージをお願いします。

世界的な気候変動や不安定な外交関係、欧米や中国での景気減速など、先行きへの不確実性が高まっています。国内においても原材料やエネルギー、物流コストの上昇が続き、労働人口の減少による人手不足や実質賃金の減少による節約志向と購買意欲低下といった厳しい経営環境が予測されます。

このようななか、当社は生産能力の強化、働く環境の整備、人材・ITへの投資、そしてビジョンのさらなる浸透に取り組んでまいります。施設投資面では、関東工場に製造棟を増築し、2025年8月より稼働を開始しました。年間最大1万1,000トンの製造能力を確保し、鍋スープなど液体調味料の需要拡大に対応しています。

さらに、第60期を初年度とする新中期経営計画では「Challenge 2028～世界に誇れる企業へ～」をテーマに「楽しい味」で 世界にプラスを。」というビジョンの実現を目指します。

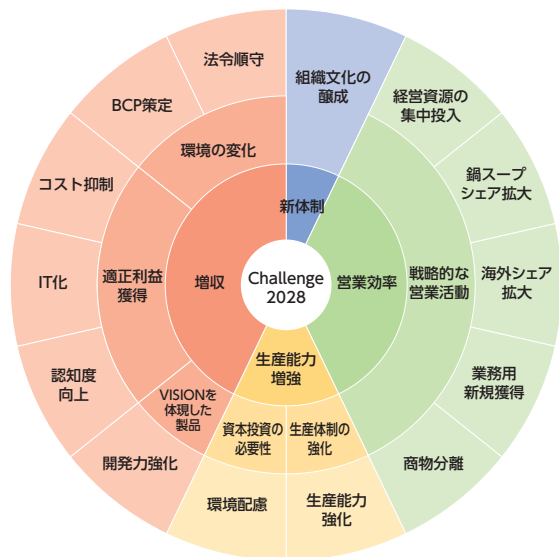
新中期経営計画では重点戦略を5つ掲げています。第一に、戦略的な営業活動です。成長市場や新たな販路に経営資源を集中投入し、海外市場でも販売体制を強化してまいります。第二に生産体制の強化です。関東工場の拡張による主力商品の生産性向上と、多様な人材の活躍推進を進めます。第三に、商品開発です。「楽しい味」で 世界にプラスを。」を軸に、プロジェクト型の新商品開発を継続し、新たなダイショーブランドの確立を図ります。第四に、経営基盤の構築です。IT活用による効率化を推進し、原材料高騰への対策として調達の見直しや包材仕様の最適化など、コスト削減に努めます。最後に、次世代を担う人材育成です。人事制度改革や健康経営の推進に取り組み、自発的な学びを促す職場環境を整え、ジョ

ブローテーションによる視野の広い人材を育成します。

以上の施策を通じて、第60期通期の見通しにつきましては、売上高275億円、営業利益6億円、経常利益6億円、当期純利益4億20百万円を予想しております。

今後もダイショーの経営理念である「おいしさで・しあわせをつくる」を価値創造の基本としつつ、当社の強みである開発力と提案力をブラッシュアップし、お客様・お取引先各位との信頼関係を宝としながら全社一丸となり、事業のさらなる成長と業務の一層の効率化に努めてまいります。

新中期経営計画  
「Challenge 2028～世界に誇れる企業へ～」の体系図



## 商品コラム

### しあわせの味

ダイショーは「おいしさで・しあわせをつくる」という企業理念のもと、日々の食卓に笑顔を届ける商品づくりに取り組んでいます。このコラムでは、そんな“しあわせの味”を生み出す商品のこだわりや開発の裏側、社員の想いをご紹介します。今回は、「秘伝 焼肉のたれ」に込められた“しあわせ”のストーリーをお届けします。

#### みんなの食卓に寄り添う「秘伝 焼肉のたれ」

「焼肉のたれはこれしか勝たん!」——そんな熱い声がSNSにあふれるほど、ダイショーの「秘伝 焼肉のたれ」は多くの家庭で愛されています。

「秘伝」の名にふさわしく、たれには数々のこだわりが詰まっています。にんにく、玉ねぎ、生姜などの香味野菜が食欲をそそり、ごま油といりごまの組み合わせが香ばしさとコクを引き立てます。さらに、味噌の深みとりんごのフルーティーな甘みが加わることで、家庭でも焼肉店のような本格的な味わいを楽しめる一品に仕上がっています。SNSでは「冷蔵庫に常備してる」「焼肉屋さんの味に近くてびっくり」といったコメントのほか「想像より味が濃かった」「にんにくが効いていてパンチがある」といったリアルな感想も見られ、味の個性がしっかりと伝わっていることがわかります。その“濃厚さ”こそが、家庭の食卓にインパクトと満足感を与えてくれるのです。

ダイショーは「おいしさで・しあわせをつくる」という企業理念のもと、60年にわたり、食卓に笑顔を届けてきました。「秘伝 焼肉のたれ」は、その象徴ともいえる存在。これからも、皆様の“しあわせの味”として、進化を続けてまいります。



## 取り組みコラム

### 味でプラス!

「楽しい味」で 世界にプラスを。」というビジョンのもと、ダイショーは商品づくりだけでなく、さまざまな取り組みを通じて社会に“プラス”の価値を届けています。このコラムでは、社内の改善活動や表彰制度、株主様とのコミュニケーション、地域との連携など、商品以外の“プラス”の取り組みをご紹介します。今回は、社員発の新商品開発プロジェクト“モノ創りPJ”をご紹介します。

#### 「社員の手でビジョンをカタチに——“楽しい味”のその先へ」



ダイショーでは、VISION「楽しい味」で 世界にプラスを。」の実現に向けて、社員自らが企画・推進する「モノ創りPJ」～ビジョンをカタチに!～」を展開しています。全国から選ばれたメンバーが集まり、部署の垣根を越えて新商品開発の立案に挑戦。社員の視点から商品企画をディスカッションし、納得感のある“カタチ”を導き出しました。こうした取り組みは、社員の成長と組織の活性化を促すだけでなく、ダイショーらしい“楽しい味”を社会に届ける力にもつながっています。これからも、社員一人ひとりの想いが、ダイショーの未来を創っていきます。この取り組みから生まれる“楽しい味”が、皆様の食卓に届けられる日をどうぞお楽しみに♪

# 営業・製造体制の再構築で、さらなる成長へ

## ～変化する市場に応えるための体制強化～

近年、顧客ニーズの多様化や物流の最適化、働き方改革など、企業を取り巻く環境は大きく変化しています。こうした変化に柔軟に対応し、持続的な成長を実現するため、当社では営業・製造体制の再構築(=Rebuild)を進めてまいりました。この取り組みは、中期経営計画に掲げる「成長戦略」の一環であり、より強固な事業基盤の構築を目指しています。



Rebuild  
01

## Marketing



| 関西営業部  
大阪市中央区の  
OMMビルへ移転



| 中部営業部  
名古屋市中区の  
三甲名古屋錦ビルへ移転

営業部の移転

地域対応力の強化

### 関西・中部営業部が新拠点へ——地域密着型営業の深化

2023年8月に関西営業部と2025年9月に中部営業部がそれぞれ新拠点へ移転しました。移転の目的は、業務効率の向上、社員の働きやすさの追求、そして顧客へのアクセス性の改善、です。それぞれ交通の利便性が高く、商談スペースやDX対応設備を整備しており、地域ごとのニーズに迅速かつ的確に対応する体制を整えました。この新たな拠点で地域密着型営業の深化を図ってまいります。

未来への布石

## 体制再構築が もたらす 持続可能な成長

今回の営業・製造体制の再構築は、単なる拠点の移転や設備の更新にとどまらず、当社の未来を見据えた重要な布石です。地域対応力の強化、供給体制の安定化、そして営業と製造の連携強化により、顧客満足度の向上と業務効率の飛躍的な改善が期待されます。これらの取り組みは、中長期的な成長を支える基盤となり、株主の皆様には安定した企業価値の向上を、お取引先様にはより

Rebuild  
02

## Production



製造体制の強化

関東工場4号棟の操業開始

### 供給力と食品安全の両立——新棟が担う未来

2025年8月、関東工場に新たに4号棟が完成し、操業を開始しました。この新棟は、鍋スープ製造ラインの老朽化および工場の狭隘化への対応に加え、販売拡大に伴う供給力強化を目的としています。生産能力の向上により、需要の急増にも柔軟な対応が可能となりました。製造現場が中心となり「より安全で高品質な商品を、より早く届ける」ことを目指し、日々改善を進めてまいります。

営業と製造の連携強化

情報共有の仕組みの見直し

### 営業と製造がつながる——“届ける力”の再構築

今回の再構築では、営業と製造の「つながり」、すなわち連携の強化も重要なテーマです。情報共有の仕組みを見直すことで、需要予測の精度向上や物流連携の強化を図り、顧客満足度のさらなる向上を目指します。私たちはこの情報共有の見直しで「届ける力」を強化してまいります。届ける力の強化は、単なる業務効率化にとどまらず、他拠点への展開やDX活用による全社的な最適化にもつながります。社員一人ひとりがつながりを意識し、部門を越えた連携を深めることで、全社一体となった取り組みへと進化させていきます。

Rebuild  
03

## Marketing × Production

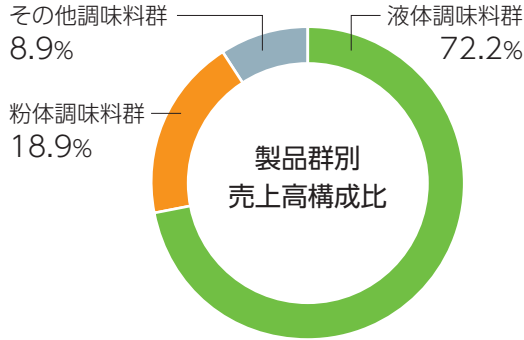


信頼性の高いパートナーシップを、そして社員には働きがいと成長機会を提供するものです。

私たちは、変化を恐れず、挑戦し続ける企業姿勢を貫きながら、これからも社会に必要とされる存在であり続けることを目指します。新たな体制のもと、持続可能な成長への歩みを力強く進めてまいります。



決算の概要



売上高	124億5百万円	前年同期比	2.1% 増
営業利益	2億32百万円	前年同期比	41.7% 減
経常利益	2億25百万円	前年同期比	46.2% 減
中間純利益	1億36百万円	前年同期比	53.8% 減

品目別売上状況

液体調味料群

たれ

「猛暑に立ち向かう食生活」をテーマに投入した春夏新製品が好調に推移いたしました。そのなかでも、「男梅」の濃厚な梅干しの味わいを再現した『男梅めんつゆ』や、「札幌 すみれ」の味噌ラーメンの味わいを取り入れた『名店のまかない飯 すみれ監修炒飯の素』など、コラボレーション製品が売上を牽引いたしました。主力製品の「焼肉のたれ」類はCM展開を強化するなどプロモーション活動が奏功し堅調に推移いたしました。

スープ

人気YouTuber監修の『料理研究家リュウジ監修 至高のキムチ鍋スープ』や名店監修鍋シリーズの『名店監修鍋スープ 喜多方ラーメン坂内淡麗旨だし仕立て』など新しく投入した「監修鍋スープ」が好調なスタートを切ったものの、残暑の影響で鍋スープ全体の販売開始には遅れが見られました。

ソース

多様なフレーバーで展開しているオイルソース類が、精肉向けを中心に売上が増加いたしました。

粉体調味料群

小売用製品の『味・塩こしょう』シリーズが好調に推移いたしました。

その他調味料群

『5つの味のスープ はるさめ』をはじめとした「スープはるさめ」シリーズが底堅く推移いたしました。

中間財務諸表

中間貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期末 2025年3月31日現在	当中間期末 2025年9月30日現在
資産の部		
流動資産	7,788	9,459
固定資産	10,916	12,606
有形固定資産	9,652	11,268
無形固定資産	24	94
投資その他の資産	1,240	1,243
資産合計	18,705	22,065
負債の部		
流動負債	4,969	8,411
固定負債	3,936	3,791
負債合計	8,905	12,203
純資産の部		
株主資本	9,725	9,774
資本金	870	870
資本剰余金	379	379
利益剰余金	8,589	8,638
自己株式	△ 114	△ 114
評価・換算差額等	74	87
純資産合計	9,799	9,861
負債純資産合計	18,705	22,065

- 流動比率は112.5%と返済能力に問題はありません。
- 有形固定資産の増加は主に関東工場増設によるものであります。
- 負債の増加は、短期借入金、買掛金、未払金が増加し、長期借入金が減少したことによるものであります。
- 自己資本比率は44.7%と前期末より下降しております。

中間損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前中間会計期間 自 2024年4月 1日 至 2024年9月30日	当中間会計期間 自 2025年4月 1日 至 2025年9月30日
売上高	12,153	12,405
売上原価	7,487	7,803
売上総利益	4,666	4,601
販売費及び一般管理費	4,268	4,369
営業利益	398	232
営業外収益	33	20
営業外費用	12	27
経常利益	420	225
特別損失	1	0
税引前中間純利益	418	224
法人税等	124	88
中間純利益	294	136

- 売上高は、前年同期を2.1%上回り13期連続の増収となりました。
- 営業利益は増収のなか原材料価格や工場増設等にかかる製造コスト上昇の影響が大きく、減益となりました。
- 経常利益および中間純利益も営業利益と同様、減益となりました。

新製品ラインアップ

… 精肉 … 青果 … 鮮魚 … 食品

[700g]

料理研究家リュウジ監修  
至高のキムチ鍋スープ

[700g]

料理研究家リュウジ監修  
至高の鶏山椒鍋スープ

[700g]

松茸香るしゃぶ鍋スープ

[100g]

ビーフストロガノフの素

[95g]

バターチキンカレーの素

[85g]

からし焼の素

[550g]

牛乳を加えて作る  
野菜をいっぱい食べるスープ  
ビスク用スープ

[550g]

牛乳を加えて作る  
野菜をいっぱい食べるスープ  
チャウダー用スープ

[750g]

巻かない  
ロールキャベツ用スープ  
ビーフコンソメ仕立て

[700g]

本格中華シェフ  
安川哲二監修  
麻婆鍋スープ

[88g]

本格中華シェフ  
安川哲二監修  
中華あんかけの素

[300g]

神田川監修  
ぶり大根のつゆ

[700g]

神田川監修  
究極の鮭鍋つゆ

[750g]

ナックポセ鍋スープ

[700g]

名店監修鍋スープ  
喜多方ラーメン坂内  
淡麗旨だし仕立て

[156g]

名店監修鍋の素  
天下一品京都鶏白湯味

[700g]

名店監修鍋スープ  
天下一品赤ん鶏白湯味

[15g]

天下一品  
こってりの素

[190g]

男梅しゃぶしゃぶつゆ

[230g]

麻辣火鍋風  
しゃぶしゃぶつけだれ

[230g]

トムヤムクン風  
しゃぶしゃぶつけだれ

[700g]

孤独のグルメ  
井之頭五郎の魚介とんこつ  
しゃぶしゃぶ鍋スープ

会社概要/株式の状況

会社概要 (2025年9月30日現在)

社名 株式会社ダイショー (英訳名) DAISHO CO., LTD.  
本社 東京 〒130-0014 東京都墨田区亀沢1丁目17-3  
TEL: 03-3626-9321 FAX: 03-3626-9393  
福岡 〒812-0064 福岡市東区松田1丁目11-17  
本社 TEL: 092-611-9321 FAX: 092-611-8288  
ホームページアドレス https://www.daisho.co.jp  
設立 1966年12月19日  
資本金 870百万円  
事業内容 たれ、スープ、粉末調味料など製造販売  
従業員数 706名

役員 (2025年9月30日現在)

取締役	代表取締役会長	松本 洋助
	代表取締役社長	松本 俊一
	専務取締役	坂田 恵補
	取締役	矢野 宏一
	取締役	根岸 宏樹
	取締役	三浦 和信
	社外取締役	本多 伸介
監査役	常勤監査役	牛塚 良信
	社外監査役	成清 一郎
	社外監査役	中野 宏治

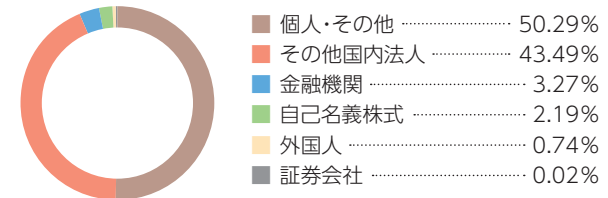
株式の状況 (2025年9月30日現在)

発行可能株式総数 24,000,000株  
発行済株式の総数 9,868,800株 (自己株式216,088株を含む)  
株主数 21,955名  
大株主

株主名	持株数 (単位: 千株)	持株比率 (単位: %)
山田興産	2,442	25.30
一般財団法人金澤記念育英財団	1,488	15.41
松本賢子	853	8.84
ダイショー従業員持株会	257	2.67
松本洋助	206	2.13
西日本シティ銀行	180	1.86
松本俊一	96	0.99

(注) 当社は自己株式216,088株を所有しておりますが、上記の表には記載しておりません。

株式分布状況 (2025年9月30日現在)



株主優待ご案内

株主優待制度の内容

1 対象となる株主様

毎年3月31日、9月30日現在の株主名簿に記載された**100株以上**ご所有の株主の皆様を対象といたします。

2 贈呈品 自社商品詰め合わせ

- 1,000円相当…100株以上
- 2,000円相当…500株以上
- 3,000円相当…1,000株以上
- 6,000円相当…5,000株以上



写真は3,000円相当の製品例

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

剰余金の配当基準日 期末配当…3月31日  
中間配当…9月30日  
その他必要がある場合は、  
あらかじめ公告して定めます。

単元株式数 100株

株主名簿管理人および  
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
受付時間 9:00～17:00 (土日休日および12/31～1/3を除く)

公告方法 当社のホームページに掲載。  
<https://www.daisho.co.jp>  
ただし、電子公告によることができない事故  
その他やむを得ない事由が生じた場合には、  
日本経済新聞に掲載して行います。

上場金融商品取引所 東京証券取引所 スタンダード市場 (証券コード 2816)

### ●住所変更、単元未満株式の買い取りのお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## 配当金を「配当金領収証」で お受け取りの株主様へ

配当金を銀行等の預金口座へ入金する手続きをしていただきますと、配当金支払開始日に株主様ご指定の口座に振り込まれます。迅速かつ安全・確実に配当金をお受け取りいただくことができますので、この機会に是非ご検討ください。

**安全・確実！** 配当金のお受け取りは**口座振込**をご検討ください。  
一度ご指定いただければ、以降は**支払開始日に即日振り込まれます**。

	お受け取り方法	お問い合わせ先
お手続き お問い合わせ先	証券会社の口座	→ お取引口座のある証券会社
	特別口座	→ 上記、三井住友信託銀行(株)証券代行部

❗ お支払開始日から満3年を経過した配当金は、お受け取りができません。

## 抽選でギフト券を進呈！

### 株主アンケート

株主の皆さまの**声**をお聞かせください /

コエキク

<https://koekiku.jp>

アクセスキー

サービス運営会社：株式会社プロネクサス  
お問い合わせ：コエキク事務局 [koekiku@pronexus.co.jp](mailto:koekiku@pronexus.co.jp)



〒130-0014 東京都墨田区亀沢1丁目17-3  
TEL:03-3626-9321 (代) <https://www.daisho.co.jp>



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

